

事項	りんご新品種「こうたろう」の特性		
ねらい	独立行政法人農業技術研究機構果樹研究所リンゴ研究部で育成した品種「こうたろう」は食味が良好で外観も良いことから、中生種として有望と思われるので試作する上での参考に供する。		
指導 参考 内容	<p>1 育成経過</p> <p>本品種は昭和51年に「ふじ」に「はつあき」を交配し、昭和61年に1次選抜、平成3年から「リンゴ盛岡56号」として全国の国公立試験場で系統適応性検定試験が行われた。平成13年10月に品種名「こうたろう」として品種登録された。</p> <p>2 果実特性</p> <p>(1) 熟期：10月下旬である。</p> <p>(2) 大きさ：300g程度である。</p> <p>(3) 果色：濃紅色で、果皮に白いかすり状の症状(スカーフスキン)が発生しやすい。</p> <p>(4) 果形：円形で、年により少しづつ割れを生じる。</p> <p>(5) 食味：果肉は硬く、肉質はややち密で果汁が多い。糖度は14～15%、酸度は0.3～0.4g/100mlで、甘味が強く食味は良好である。蜜は入らない。</p> <p>(6) 貯蔵力：貯蔵期間は普通冷蔵で2月下旬頃までである。</p> <p>3 その他の特性</p> <p>(1) 生態：発芽日から落花日までは「ふじ」より2～4日程度遅い。</p> <p>(2) 樹の性質：樹姿は開張性を呈する。樹勢は若木では強いが、果実が成り込んでくるとやや弱めとなる。1年生枝の基部側の芽の発芽率が低く、花が咲いた後の果台に頂芽が形成されないことが多いため、枝のはげ上がりが生じやすい。</p> <p>(3) 交雑和合性：遺伝子型からみて、「ふじ」、「つがる」、「王林」などの主要な栽培品種と和合性であると考えられる。</p> <p>(4) 生産力：花芽がつきやすく、豊産性である。隔年結果は見られない。</p> <p>(5) 耐病性：斑点落葉病には「つがる」と同程度の抵抗性を示す。</p>		
期待される効果	全面に着色するため、着色管理が容易であり、油あがりや軟化がみられないため、「ジョナゴールド」より栽培しやすく、酸味の強い「ジョナゴールド」と並行販売する甘味の強い紅色品種として有望である。		
利用上の注意事項	沖積土壌での試験結果であるため、火山灰土壌で栽培した場合、果実の大きさはこれより小玉になる可能性がある。		
担当	青森県りんご試験場 育種部	対象地域	県下全域
発表文献等	果樹系統適応性・特性検定成績検討会資料(平成9年～12年)		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 「こうたろう」の生態

(平成9～13年 青森りんご試)

年	発芽日		開花日		満開日		落花日	
	こうたろう	ふじ	こうたろう	ふじ	こうたろう	ふじ	こうたろう	ふじ
平9	4.10	4.7	5.11	5.9	5.15	5.13	5.21	5.18
平10	4.6	4.5	4.27	4.24	5.5	5.1	5.11	5.6
平11	4.17	4.13	5.10	5.7	5.18	5.13	5.26	5.21
平12	4.13	4.11	5.14	5.13	5.22	5.18	5.27	5.23
平13	4.12	4.9	5.9	5.6	5.15	5.13	5.19	5.18
平均	4.12	4.9	5.8	5.6	5.15	5.12	5.21	5.17

(注) 平成10年は開花が異常に早かった年

表2 「こうたろう」の果実品質

(平成9～13年 青森りんご試)

年	収穫日 (月.日)	一果重 (g)	硬度 (lbs)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)
平9	10.20	358	19.1	15.5	0.43
平10	10.19	359	16.8	14.4	0.28
平11	10.18	274	16.5	13.6	0.30
平12	10.25	337	17.1	14.2	0.34
平13	10.24	295	17.8	14.3	0.38
平均	10.21	325	17.5	14.4	0.35

(注) 1 台木：M.26EMLA、平成13年で13年生

2 栽植場所は沖積土壌

表3 「こうたろう」の斑点落葉病抵抗性

(平成11年 青森りんご試)

品 種 名	調査葉数	発病率(%)	被害度
こうたろう	15	0.0	0.0
つがる	15	0.0	0.0
ふじ	15	20.0	4.4
スターキング	15	100.0	80.0

表3 「こうたろう」の交雑和合性

(平成11年 青森グリーンバイオ)

品 種 名	S 遺伝子型	和 合 性
こうたろう	S3Sf	—
ふじ	S9Sf	○
つがる	S3S7	○
王林	S2S7	○